



市政 PICK-UP

名橋に映ゆる時代絵巻

4月29日、第38回錦帯橋まつりが開催されました。

ゴールデンウィークの幕開けとなったこの日は好天に恵まれ、錦帯橋周辺は約4万人の人出でにぎわいました。

会場では朝から、空手道演武や吹奏楽演奏、お茶会など多彩な催しが行われ、錦帯橋世界遺産推進ブースでのミニ錦帯橋模型作りやスタンプラリーでは、親子が楽しみながら錦帯橋の構造などを学ぶ姿が見られました。お祭りムードが最高潮を迎え

第38回 錦帯橋まつり



た昼過ぎ、岩国藩鉄砲隊の号砲、岩国太鼓の演奏が鳴り響く中、あでやかな着物姿の時代着物行列、南条踊り、小糠踊りらが次々と錦帯橋を渡り始めました。最後に登場した大名行列には、本市と鳥取市の姉妹都市提携20周年を記念し、深澤義彦鳥取市長が福田良彦市長とともに城主として参加しました。二人の城主は奥方に扮したミス岩国らと笑顔で観客の歓声に応えていました。

☎ 観光振興課 ☎ 295116



一人一人の意識で交通安全

春の全国交通安全運動期間（5月11日～20日）を前にした5月8日、市民会館前で交通安全市民大会が開かれ、19団体約300人が参加しました。

交通安全岩国市対策協議会会長の福田良彦市長と岩国警察署の近藤淳署長が「交通事故はいつどこで起こるかわからない。市民一人一人がこれくらいなら大丈夫という思いをなくすことが大事。皆さんと一緒に運動を盛り上げていきたい」などとあ



▲麻里布保育園園児による交通安全宣言

交通安全市民大会&パレード

いさつしたのに続き、無事故無違反コンテストの表彰や交通標語優秀作品の紹介が行われ、麻里布保育園園児が「てをあげておうだんほどどうをわたります」「どろにとびだしはしません」などの交通安全宣言を行いました。

大会終了後、一行は岩国地区消防組合音楽隊を先頭に交通安全パレードに出発し、通行人らに交通安全を呼び掛けました。岩国市民協働推進課 ☎5018



▲商店街など市中心部で交通安全パレードを行った

植物の力で夏を快適に

4月24日、市役所西側に緑のカーテンを作るための植え付け作業が行われました。この取り組みは新庁舎が完成した平成20年から行われており、今年で8回目となります。

つる性の植物をカーテンのように育てることにより、日光を遮るだけでなく、植物の蒸散による気化熱を利用して、建物の気温上昇を抑えることができる「緑のカーテン」。

この日は、福田良彦市長や市職員が窓際に設置されたプラン



▲パッションフルーツの苗を植える福田市長（右）と市職員

市役所に緑のカーテン設置

ターにゴーヤ、アサガオ、パッションフルーツ、フウセンカズラの苗を植えました。

8月には緑鮮やかなカーテンが完成する予定で、福田市長は「学校や総合支所などでも取り組んでおり、今後も広く啓発に努めたい」と述べました。

市では、5月1日から7月31日まで「緑のカーテンキャンペーン」の参加申し込みを受け付けており、優秀な取り組みを表彰することになっています。

環境保全課 ☎5100



▲緑のカーテンは断熱効果があるだけでなく、植物観賞や果実の収穫ができるのも魅力